

## Ⅱ-6 先進的営農技術の推進

### ICT技術の活用

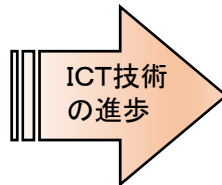
GPSガイダンスシステムなどICT技術の進歩により、飛躍的に営農の省力化と生産性の向上が期待されています。

こうしたICT技術を有効に活用するためには、ほ場の大区画化や排水性の改善などの土地基盤整備が不可欠です。

#### ◆現状

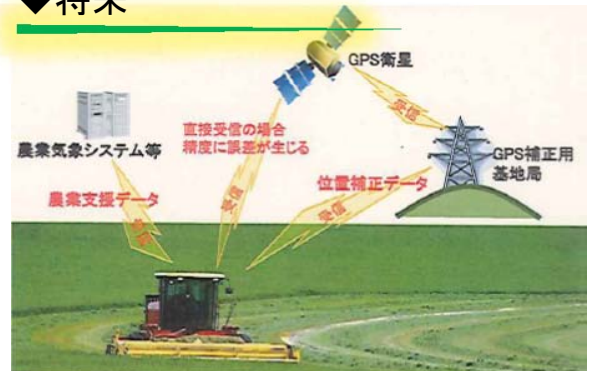


大区画ほ場と大型機械による生産性の向上



・ICT=Information and Communication Technology  
→ 情報通信技術

#### ◆将来



GPSガイダンスシステム等による更なる生産性の向上

#### ◆GPSガイダンスシステム導入の効果

##### ○ 正確な機械運行

- ・ 作業時間短縮、夜間作業も可能
- ・ 大区画ほ場でもマーカー不要



##### ○ 可変施肥

- ・ 過散布を防止することでコスト縮減
- ・ 収量・品質が安定



##### ○ 無人作業

(試験中)

- ・ 運転労力の節減
- ・ 節減される労力により多様な農業を展開予定



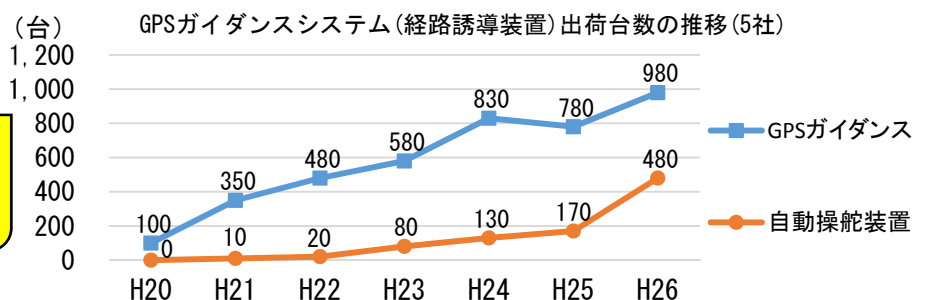
機械作業の精密化・省力化による作業時間・作業人員のさらなる軽減

契機

下支え

小区画から大区画への整備による大型機械化の促進

#### ◆GPSガイダンスシステム導入の実績



資料 北海道農政部調べ

・GPSガイダンスシステムは近年、北海道を中心に導入が進んでいます。